

令和3年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(大寄小学校)

平均正答率

(単位 %)

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
大寄小	62.8	56.1	51.8	70.5	61.8	60.2
埼玉県	58.0	56.7	58.6	69.9	61.6	60.9

質問紙調査より

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値

(単位 %)

	質問事項	小4		小5		小6	
		大寄小	埼玉県	大寄小	埼玉県	大寄小	埼玉県
生活習慣	・脱いだ履き物のかかとをそろえる	100.0	83.3	82.3	83.6	95.9	86.8
	・相手の顔を見て、はっきりあいさつをすることができる(小4) ・自分からはっきりあいさつをすることができる(小5、小6)	89.5	78.5	82.4	78.2	91.7	78.0
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉づかいができる	100.0	84.6	76.4	84.6	95.8	84.1
学習習慣	・学校の宿題をしている	100.0	94.9	94.1	96.2	95.7	96.1
	・学校の授業の予習や復習をしている	84.2	69.3	94.1	69.9	79.1	70.0
	・平日、学校の授業時間以外に1時間以上勉強している(塾等を含む)	100.0	51.1	76.5	58.3	75.1	64.9
学習等への関心	・勉強することが楽しい、好き(勉強する理由として)	84.2	70.0	86.4	63.8	83.3	57.8
	・勉強は将来の進学や就職に役に立つ(勉強する理由として)	100.0	88.3	88.3	88.7	91.6	90.8
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	94.7	77.5	82.4	70.9	91.7	63.7
その他	・自分には、よいところがある	100.0	80.2	64.7	77.9	83.4	69.8
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	94.7	80.3	70.6	79.9	70.8	75.8
	・将来の夢や目標をもっている	84.2	89.0	100.0	88.3	95.8	83.4

大寄小の「よかった点 (○)」と「課題 (●)」

【国語】

- 4年 漢字の読み、同訓異字、国語辞典の使い方、大切な言葉の抜き出し、心情の読み取り、会話の内容理解、説明を書く問題の正答率が、県より15ポイント以上上回る。
- 主語・述語の選択、書き順、接続語、文章の推敲が、県より10ポイント以上下回る。
- 5年 主語・述語の選択、同音異義語の選択、文章の要点整理、指示語の内容理解、理由を挙げ考えを書く問題の正答率が、県より10ポイント以上上回る。
- 漢字の部首、熟語の読み、指示語の役割理解、類義語の選択、呼応の副詞の使い方、熟語の構成、登場人物の心情理解の正答率が、県より10ポイント以上下回る。
- 6年 被修飾語の選択、語の意味理解と適切な使用、指示語の役割理解、考えをまとめて書く問題の正答率が、県より10ポイント以上上回る。
- 漢字を書く、敬語の使い方、同音異義語の選択、登場人物の心情や考えの読み取り、文章の内容や構成の理解、意図を明確にして話し合う、資料の活用の正答率が、県より10ポイント以上下回る。

【算数】

- 4年 整数と小数のひき算、3位数のたし算、分数の理解、巻き尺の読み方、等しい重さのつり合い、時計の読み取りと時刻の計算の問題の正答率が、県より10ポイント以上上回る。
- 10でわった数の表し方、数の比較、数の構成、わり算を使う文章題の立式、棒グラフの表し方、状況の数学的理解と数学的な表現の問題の正答率が県より10ポイント以上下回る。
- 5年 あまりのあるわり算、空間上の位置の表し方、比例の計算、資料の分析、伴って変わる2つの量の関係の説明の問題の正答率が、県より10ポイント以上上回る。
- 商が小数になるわり算の計算、概数を使った見積もり、二つの数量の関係の問題の正答率が県より10ポイント以上下回る。
- 6年 最大公約数、1より小さい割合、単位量当たりの大きさ、帯グラフの読み方、円グラフの見方の問題の正答率が、県より10ポイント以上上回る。
- 整数と小数のかけ算、異分母の分数のたし算、分数と小数との変換、小数を含む場合の計算法則、三角形・平行四辺形の面積、内のりと容積の問題の正答率が、県より10ポイント以上下回る。

【質問紙】(4, 5, 6年全体として)

- 平日に学校以外で1時間以上勉強する割合が、県より26ポイント上回っている。
- 勉強が楽しいと感じている児童の割合が、県より21ポイント上回っている。
- 地域の歴史や自然に関心を持っている児童の割合が、県より19ポイント上回っている。
- 平日に4時間以上テレビゲームをする4・6年児童の割合が、県より5ポイント上回っている。

課題への取組・改善策

【国語】

- 学校では、授業の中で自分の主張をわかりやすく表現する場(発表や短作文)を取り入れ、児童の言語活動の充実を図ります。
- 家庭学習に、既習漢字の練習(熟語の意味を意識)を日常的に位置づけるようにします。

【算数】

- 授業や業前、家庭学習等に、四則計算の習熟を図るためのドリル学習を行います。
- 表やグラフから読み取ったデータの解釈を、言葉や文章で表現する学習機会を増やします。
- 問題を解く過程を、数式を含んだ文章で説明する学習機会を増やします。

【その他】

- 携帯電話、スマートフォンやコンピュータの使い方について、家庭での約束を再確認するとともに、しっかり守るよう、さらなる徹底をお願いします。
- 平日のテレビゲームの時間を短くするよう、家庭での約束の見直しと徹底をお願いします。

